

新型コロナウイルス感染症対策に係る  
知事と町村長との意見交換議事録

令和 2 年 3 月 5 日（木）

於・都庁第一本庁舎 9 階ホﾟレシヨﾝルーム

〔開 会〕

○行政部長

それではこれから始めさせていただきます。おはようございます。これより新型コロナウイルス感染症対策に関する町村長と小池知事との意見交換を始めさせていただきます。冒頭、小池知事より一言お願いいたします。

○小池知事

皆さん、おはようございます。本日は議会会期中ということでございますが、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。新型コロナウイルス感染症への対応でございますけれども、刻一刻、日々それぞれ状況が変化をいたしております。その中でも、極めて重要な局面は、今、そして今週、来週ということが、一番重要な時期ではないかと思うわけであります。感染の急速な拡大を、このタイミングで抑えられるかどうかという、瀬戸際という言葉を使わせていただきたいと思っております。イベントの中止であるとか延期、小中学校、ちょうど卒業式、入学式というという時期ではございますけれども、臨時休校が既に始まっている。そしてまた、企業活動もですね、非常に色々なしわ寄せが出てきているかと思っております。もちろん都民の暮らしも具体的な影響が出ているという状況であります。そこで、都といたしまして、新型コロナウイルス対応緊急東京チームという組織を、昨日の時点で立ち上げておりまして、まさに緊急対応策を早急に取りまとめ、そして、国とも連携をいたしながら、感染の拡大の防止、都民生活への影響を最小限に抑える施策を打ち出していきたいと考えております。皆様方におかれましても、新型コロナウイルスへの対応にあたって、住民の皆さんの不安に対して真正面から向き合っておられると思っております。去年も台風の時に色々な災害が如実に現れました。停電、屋根が飛ぶ等々の問題、それか

ら崖が崩れて道が壊れたりというような状況でございましたが、それぞれ皆様方と連携をさせていただきながら、困難に立ち向かってきたわけでございます。今回は見えざる敵との闘いではございますけれども、しっかり皆様方と連携しながら、また国に対してもしっかりと要望いたしながら、進めて参りたいと考えております。都、そして皆様方町村、力を合わせてこの緊急事態に対応していかなければならないと存じます。朝の忙しい時間ですけれども、どうぞよろしく願いいたします。私からは以上です。

○行政部長

続きまして、町村会を代表いたしまして、町村会会長の奥多摩町河村町長から一言お願いいたします。

○河村町長（奥多摩町）

皆様、おはようございます。奥多摩町長の河村でございます。本日は、小池知事におかれましては、令和2年第1回都議会定例会の開会中にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症への対応に色々ご尽力をさせていただいております。13町村長では、このコロナウイルス対策に対しまして、緊急要望をさせていただき、ご説明させていただく機会をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。色々な個々の問題につきましては、13町村で共通した問題もありますけれども、今日は島の会長であり、副会長である三辻大島町長、町村会の顧問である坂本檜原村長、広瀬御蔵島村長にそれぞれの状況等について、ご説明をさせていただきますので、今後とも都と連携を取りながら、知事からお話がありましたような対策に取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○行政部長

ありがとうございました。それでは本日のテーマに入らせていただきます。本日のテーマは、新型コロナウイルス感染症対策についてでございます。まずは、町村会からの御要望につきまして、奥多摩町河村町長から、御発言をお願いいたします。

○河村町長（奥多摩町）

はい、13町村の共通した問題といたしましては、医療・介護関係者以外の衛生用品の確保の問題、保健所の保健師等、専門職の非常時での町村との派遣の問題、感染者が出た場

島のマスコミの対応、感染者が出た場合の保健所からの連絡等々を含め、まだまだ心配な点が多々ありますので、これらの点につきまして、それぞれの首長から具体的な事項について御説明をさせていただきたいと思います。

#### ○行政部長

それでは、具体的な御説明に入っていただければと思います。それでは、町村側から発言がございましたらよろしく願いいたします。大島町長、よろしく願いいたします。

#### ○三辻町長（大島町）

皆様、おはようございます。大島町長の三辻です、よろしく願いいたします。まず、島しょ地域は都内と違いまして、特殊な環境なので、大きく分けて三点の要望事項があります。

まず、一点目としまして、検査体制及び感染者対策の強化でございます。こちら、島しょ部では保健所の出張所が4島しかなく、また第一登録の病床が八丈島の2室、2ベッドのみです。感染者が出た場合の対応策がない状況となっております。そのため、島しょ部の感染防止の観点から、水際対策を強化することを要望いたします。

具体的に言いますと、マスク、消毒剤、薬用石鹸、非接触型体温計等、是非支援をしていただきたい。空港や船着き場等、島外からの結節点において、サーモグラフィーを設置する等の水際対策、これを強化していただきたい。また、感染者が出た場合の救急搬送について、消防庁のヘリを活用する等、適切に対応されたい。それと、保健所の出張所の対応、保健所がマンパワー等弱い状況にありますので、これをもう一度整備されたい。あとは検査キットが出来次第、優先的に配布されたい。

二点目の要望事項としましては、財政支援の強化です。島しょ部の観光客は激減し、ホテル等では宿泊のキャンセルが相次いでおります。観光業を産業としている島しょ部においては、ホテル等の観光業だけでなく、付随する業者にも大きな影響が出ております。感染収束後、速やかな経済的支援が必要なことから、次のことを要望いたします。

その一つ目としては、各島の実態調査を行い、その島の支援策を検討されたい。二つ目としては、観光業支援のため島しょへの交通手段の支援等予算措置を講じられたい。漁業や農業などに対する産業支援をお願いしたい。

最後に、要望事項の三点目は、小中学校休校に伴う補償でございます。

具体的に申しますと、学校給食の食材廃棄処分費、休校に伴い今後発生が見込まれる休業補償費や教職員の家庭訪問時の燃料代などについて補助いただきたい。

以上であります。このように、各島の実情を踏まえて、柔軟な対応を図ってください。以上です。どうぞ、よろしく願いいたします。

#### ○行政部長

ありがとうございました。続きまして、檜原村の坂本村長からご発言を、お願いいたします。

#### ○坂本村長（檜原村）

皆さんおはようございます。檜原村の坂本です。日頃より、東京都からは大変なご支援をいただいていることに感謝を申し上げます。私ども檜原村としての要望は、四つの事項です。

まず、一つ目になりますが、マスク・アルコール消毒等の配布についてです。現時点において備蓄もありますが、今後の感染拡大や収束までの対応期間の延長を考えると、現時点ではマスク等は購入することが出来ず、今後の購入についても未定でありますので、東京都においてストックしているものがあれば、配布していただきたいと思っております。

二つ目といたしましては、小中学校の休校に伴う小学校低学年の児童館への受け入れに伴う財政支援についてです。檜原村においては学童保育がないために、村施設の児童館において小学校低学年で児童をみる方がいない場合にお預かりしております。3月3日付、児童福祉主管課長宛での事務連絡において、東京都においては学校の臨時休業に伴う緊急対策として、学童クラブに準じた児童の居場所の確保策等として柔軟に活用できるとしておりますので、檜原村での対応についても適用していただけるようお願いいたします。

三つ目になりますけども、保健所の対応等についてですが、コロナウイルスの感染者が出た場合に、保健所より各自治体に連絡が来ることとなっておりますが、年齢と性別のみの連絡ということですので、村としての対応ができないと考えております。また、保健師や医師、その他一般職員も少ないこともありますので、感染拡大に対する措置及びマスコミ対応については保健所において対応していただけるよう要望するものであります。

四つ目になりますけども、村の要請による村施設の休業に伴う売り上げ補償であります。

檜原村の公共施設等について、指定管理や貸付け等により民間事業者が施設運営をして

おりますが、今回の緊急体制として一律休業をお願いしてあります。公共施設でありますので、この1、2週間においては業者からも了承をいただいておりますが、長期の休業となりますと各事業所においても収入が減ることとなりますので、その補償について支援をお願いするものです。

この他にも、村には観光事業者や飲食店もありますので、国からの要請等もあり影響が出ておりますので、東京都としても関連事業者への支援をお考えいただけるとありがたいと思っております。以上でございます。

#### ○行政部長

ありがとうございました。最後になります。御蔵島村の広瀬村長、ご発言をお願いいたします。

#### ○広瀬村長（御蔵島村）

おはようございます。御蔵島村の広瀬です。日頃、東京都には大変お世話になって、本当に島しょ地域は助かっております。その中で、今回のコロナウイルスの問題についてはやはり、各町村の状況によって違いがございます。

特に、私たちのような小離島については、保健所がないということで、やはり、行政がしっかり守っていかなければなりません。対策としては早く、水際で食い止めること、そして感染者が発生した場合の対策、これは隔離することができないということで、検討を早急にしていかなければなりません。

その前に、まず実施していかなければならないことは、水際での対策です。レーザーの体温計を港やヘリポートへの早急な設置を東京都にお願いしたいと思っております。そして消毒液、マスク、これは各島々が共通の問題として抱えております。マスク、消毒用のアルコールの問題については、他の町村長がおっしゃったように、島しょ地域では期間が長くなればなるほど、入手が困難になり、緊迫感を持って取り組む必要があり、全体を通して考えていただきたいと思っております。また、観光問題などの島しょの共通課題についても同じ問題として考えていただきたい。

よろしく申し上げます。以上です。

○行政部長

ありがとうございました。それでは知事から御発言をお願いいたします。

○小池知事

はい、ご苦労様でございます。それぞれの地域のニーズをお伝えいただきました。いくつか共通項、島や村、町によって特徴的なことがありますけれども、共通して言えることは、まず医療従事者の安全確保をすること、小中学校、医療・介護関係者などに対するマスクや消毒液など衛生用品を確保すべきということ、それから保健師など専門職の町村の状況が脆弱であるということで派遣してほしいということ、感染情報などの正確な提供や体制支援をお願いしたい

など、町村全体に関わる要望、その他も多数お聞きしました。

また、島しょ地域におけるPCR検査体制の構築、それから感染症患者が出た際、どのようにして搬送していくのか、島内感染を未然に防ぐため、島に来られる来島者などに対する指導、支援、それから水際における体温チェック等々の話など、島しょ地域に関する要望もいただいたところであります。

いずれの要望も、大変大事な点でございますので、いただいた要望については、早急に検討チームの方で緊急対応策の方にまとめまして取りまとめていきたいと思っております。

先日、東京マラソンが行われまして、今回は一般の参加者は御辞退いただいた訳でございますが、そのときに使う予定だったマスクをマラソン財団から東京都にお譲りいただき、まずは第1弾として学童クラブ等にお送りを順次させていただきたいと、このように考えております。

今、皆さんの不安というのは、日々刻々変わっていき、深まっていく、広まっていくという状況でございますので、迅速にそれぞれ対応させていただきたいと考えております。これは共通の敵に対して、共に頑張っていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○行政部長

ありがとうございました。その他出席者のみなさまから何か御発言があれば、よろしく申し上げます。

では、三辻町長申し上げます。

○三辻町長（大島町）

東京都の迅速な対応を期待しておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

○行政部長

ありがとうございました。河村町長よろしく申し上げます。

○河村町長（奥多摩町）

知事ありがとうございました。いずれにしても、東京都と連携しながら13町村が抱えている脆弱な部分についての対応、あるいは今後の財政支援を含めて、よろしく願い申し上げまして、今日、このような貴重な機会をもっていただいたことに改めて感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

○小池知事

こちらもありがとうございました。冒頭申し上げましたように、ここは正念場でございます。都と、そして町村の皆様方と連携しながら、取り組んでいきたいと思っておりますので、御協力の程、よろしく願いいたします。みなさま方の御要望をしっかりと緊急対応策の方にとりまとめていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしく願いいたします。皆様の御要望、いつでも御連絡いただきますようよろしく願いいたします。島民のみなさん、町村民のみなさんによろしくお伝えください。がんばりましょう。

○行政部長

これで意見交換を終了とさせていただきます。知事が退室されます。皆様ありがとうございました。

[閉 会]